

2024年度 第2回学校関係者評価委員会 議事録

1) 日 時：2025年3月24日（月） 14時00分～15時00分

2) 場 所：応接室

3) 出席者：外部委員

職能団体 阿部 誉久 山口商工会議所 広域ビジネスサポートセンター長

企業関係者 澤村 有利生 社会福祉法人 長門市社会福祉協議会 常務理事

高校関係者 蔵増 聡 学校法人山口県桜ヶ丘学園 山口県桜ヶ丘高等学校晃英館
コース晃英館中学校 校長

本校教職員

中川 達也 校長

河津 道正 副校長

田中 秀樹 教務課長

日當 泰浩 事務長

青木 敏春 教務係長

田村 天人 公務員総合学科1年担任

4) 次 第：(1) 校長あいさつ

(2) 委員紹介

(3) 教職員紹介

(4) 委員長選任

(5) 議事

①2024年度自己点検・評価実施結果について報告

②2025年度取組予定内容の報告

(6) 意見交換

(7) 連絡事項

●委員長の選任

阿部誉久委員を委員長とし議事を進行。

●議事① 2024年度 自己点検・評価実施結果について報告

それぞれの自己点検・評価項目について、学校としてどのような評価になっているかを委員に報告し、適切であるかの評価、課題とその改善方法に関する意見を頂いた。

1 教育理念・目標

- ・ カテゴリーA、B、Cすべてで評価4（適切）であった。
- ・ 公務員ガイダンスの際に人事の職員の方に卒業生自身の様子や部署における仕事の様子を聞くことができた。

2 学校運営

- ・ カテゴリーA、B、Cのおおむねが評価4（適切）であったが、2－4運営組織の項目の中で評価3（ほぼ適切）、評価1（不適切）があった。これは理事会の議事録が公開されていないことが原因であり、今後の検討課題である。
- ・ MyIDの導入により、学生や保護者への連絡を効率よくできるようになった。

3 教育活動

- ・ カテゴリーAはすべてで評価4（適切）であった。
- ・ カテゴリーB、Cの中に評価3（ほぼ適切）のものがあつた。非常勤講師が担当する科目のコマシラバス作成されていないことや、公務員として就職した学生に対して学校で学んだことが役に立っているか把握できていないことが課題としてあつた。
- ・ 委員からは、社会に出てから学校で学んできたことがどのように生かされているのかを知ることとはとても大切で、卒業生からそれを聞く機会があれば、積極的に行うことができればいいのではないかという意見が出た。

4 学修成果・教育成果

- ・ カテゴリーA、Bはすべてが評価4（適切）であった。
- ・ 4－4社会的評価の項目のカテゴリーCで評価2（やや不適切）であった。やはり、卒業生の動向について調査し把握することが不十分で、学校運営に反映されていないところがあった。
- ・ 同窓会会員サイトへ登録する際に就職先欄の入力をしてもらうなど、できるだけ情報を集められるように改善していく。
- ・ 委員からは、卒業生が転職したりするとどこで何をしているのかわからない場合が多く、担任の先生も変わってしまうと、卒業生についてのことが分からない場合もあるので、調べていくのは大変だろうとの意見が出た。

5 学生支援

- ・ カテゴリーAはすべて評価4（適切）だった。
- ・ 5－7卒業生・社会人支援の項目の中で、卒業生に対しての検定等の支援が評価3（やや適

切)、評価2(やや不適切)があった。

- ・卒業後の検定結通知の際に検定実施日などの案内をして、検定取得に向けた支援を行う。
- ・委員からは、社会から求められているスキルに対してどのような検定をしていくのか、またその取得に向けてどのような授業をするのか検討する余地があるのではとの意見が出た。

6 教育環境

- ・カテゴリーAはおおむね評価4(適切)だった。
- ・図書室と校外学習等の成績評価基についての項目が評価2(やや不適切)、評価1(不適切)があった。
- ・図書室については学校の部屋割り等の問題もあり、全体として検討する必要がある。校外学習等の成績評価基準は、インターシップの評価基準があいまいな部分があったので、適正な評価基準を作成して明確な評価を行うようにする。

7 学生の受け入れ募集

- ・カテゴリーA、B、Cすべて評価4(適切)だった。

8 教育の内部保証システム

- ・カテゴリーA、B、Cのおおむねが評価4(適切)だった。
- ・8-4改革・改善の項目の中で、自己点検・評価の結果に基づく改善計画の策定が出来ていないため評価1(不適切)だった。今回からカテゴリーCまで含めた自己点検評価を行って、それに基づく改善計画は今後の策定となる。

9 財務

- ・カテゴリーA、B、Cすべて評価4(適切)だった。

10 社会貢献・地域貢献

- ・カテゴリーA、Cすべて評価4(適切)だった。

●議事②2025年度取組予定内容の報告

2025年度取組予定内容を委員に報告し意見を頂いた。委員からは次のような意見が出た。

- ・職業を理解するためには、見学やガイダンスをたくさん行っているのは良いので、続けてもらえるといい。市役所も建て替わって新しくなったところがあるので、その中で働いていくのだという意識を持ってもらえるといいのでは。また、地域社会のことを理解する上でボランティアを行うことは大切なので、多く参加してもらえるといい。社会人となって働くようになると、人前で発表して意見を述べる機会が増えるので、学生のときにその経験ができる行事を行っているところはいいと思うので、続けていってもらいたい。

●連絡事項

2025年度第1回委員会は、9月～10月頃開催予定(開催日時は調整の上決定)